

<編集後記>

会誌編集委員会の新体制に際して

関西自然保護機構（KONC）は、「自然環境保護にかかわる人たちや関心をもった人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして」、1978年に創立されました。その足跡をたどると、本会がこの目標に向かって着実に歩みを進めてきたことをあらためて感じます。今年30周年を迎える本会は、さらなる発展をめざして、2008年1月以降、特定非営利活動法人大阪自然史センターとの合流によって、新しい体制のもとに運営されています（詳細は本会ホームページをご覧ください）。これにともない、編集委員会も新体制で運営されることとなりました（新編集委員については裏表紙見返しに掲載）。

本会誌は、会員のみなさまの調査研究、本機構が事業として行った調査研究あるいは本機構が助成金を交付した研究成果を掲載し、出版してきました。こうした調査研究の成果にもとづく自然環境の保全こそが、今、必要とされています。創立当初からの自然調査研究・自然環境保全の活動に対する真摯な姿勢をそのまま引き継ぎながら、より充実した会誌となるよう、企画・編集を行ってまいりたいと考えております。

創刊号は、当時、大阪市立大学の山岸 哲先生が編集委員長となられ、1978年に発刊されました。ついで同大学山倉拓夫先生、小林圭介先生（滋賀県立大学名誉教授）が、編集委員長として会誌発行に尽力してこられました。新しい編集委員会体制に際して、前編集委員長小林先生には、「新しい編集委員により充実した会誌に向けた努力を期待している」とのエールをいただきました。編集委員長という大任に、力不足を感じておりますが、編集委員および運営委員と力をあわせて、微力を尽くしたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今号は、本会名誉会員の吉良竜夫先生と前会長千地万造先生の記念講演の内容を掲載しています。お二人の先生から、講演のテープから起こした原稿よりもわかりやすくなるようにというお申し入れをいただき、あらたに原稿をご執筆いただきました。さらに、「里山生態系とナラ類の種生態」と題して実施したKONCセミナーの記事、原著論文、短報、奈良女子大学和田研究室のとりくみ、そして前理事長渡辺弘之先生の書評など、多彩な内容になりましたことを感謝いたします。

（前迫ゆり）